筑波トランスパシフィックプログラム（TTPP）
2026 年度（2027 年 2 月-3 月）
メキシコ・グアダラハラ大学 短期研修　募集要項

1. 趣旨

筑波トランスパシフィックプログラム（TTPP）（※）において、本学協定校であるメキシコ・グアダラハラ大学を主な研修先とする学生の短期研修を実施する。

※筑波トランスパシフィックプログラムとは、本学がメキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携大学と連携して取り組む、持続的発展と地球規模課題の解決に資する人材の育成を目的とする双方向の協働教育・履修証明プログラムのこと。

2. 研修概要

グアダラハラ大学と連携し、メキシコの歴史・社会等に関する講義および文化研修を受講する。また現地日本企業等への訪問を通じて講義やインタビューを実施する。日本とメキシコ、中南米及び世界の持続的な関係性の発展について、現地の学生とディスカッションし、最後にプレゼンテーション（英語）を行う。

なお、本研修には、渡航前の事前研修及び帰国後の成果報告会が含まれる。

3. 研修内容

派遣先	：	メキシコ・グアダラハラ大学及び現地日本企業等
派遣期間（予定）	：	2027 年 2 月 28 日（日）～3 月 12 日（金）※今後、変更の可能性あり
募集人数	：	10 名（最小催行人数：5 名）
使用言語	：	英語及びスペイン語（スペイン語のレベルは問わない）
単位	：	2 単位（8070307 国際パートナーシップ研修（中南米））
費用	：	40 万円程度（航空券代、宿泊代、食事代、海外旅行保険料、OSSMA 登録料など）
旅費支援金	：	15 万円（「はばたけ！筑大生」）

4. 応募資格及び条件

(1) 派遣期間中、本学の学群又は大学院の正規課程に在籍する者
なお、次の者は応募不可
・派遣期間中に休学する者（渡航までに復学していれば、休学中の応募は可能）
・ダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム等を実施する海外の大学との協定書により本学の学生となる外国人留学生

(2) 本研修の目的及び活動内容を十分理解したうえで行動し、本研修での学びを今後の学習・研究活動や課題解決に積極的に還元する意欲をもった者

(3) TTPP 事務局との定期的な連絡体制を確保できる者

(4) スペイン語の学習履歴及び学習意欲のある者を優先

(5) 渡航・滞在中の事件や事故、災害、感染症に備えて下記すべてを行うこと

① 海外渡航システム（TRIP）の作成
② 海外安全危機管理サービス（OSSMA）への登録※費用は自己負担
③ 海外旅行保険への加入※費用は自己負担

(6) 「8070307 国際パートナーシップ研修（中南米）」を履修すること

(7) 事前研修及び成果報告会を含む本研修の全日程に参加すること

5. 応募方法

(1) 提出書類

① 申請書（様式）
② 保証人の承諾書（様式）
③ 肖像の使用に係る承諾書兼個人情報の取扱に関する同意書（様式）
④ 成績証明書
⑤ パスポートの写し
（顔写真のある頁。未取得の場合はその旨メール本文に書き知らせること）
⑥ 語学能力試験の証明書の写し（TOEFL, TOEIC, IELTS, DELE 等の受験経験がある場合）
※①～③は該当の様式をダウンロードすること。
※①～⑥すべてを 1 つの **PDF ファイル**にまとめて提出すること（ファイル名に必ずフルネームを含めること）。他の形式（画像データ等）では受付不可。

(2) 提出先

下記 UTOS フォルダに提出書類をアップロードの上、TTPP 事務局のメールアドレス宛に連絡すること。
【UTOS フォルダ】
https://utos.tsukuba.ac.jp/public/QyKGgbTXsm56PkVHk3f42jcp8Sj6oYN6UuMjJsivR4JY
【TTPP 事務局のメールアドレス】
latinamerica-pj@un.tsukuba.ac.jp

(3) 提出締切

2026 年 11 月 26 日（木）正午　※締切厳守

6. 選考方法

書類選考後、面接選考を実施。
面接の詳細及び日程については、書類選考通過者にメールにて通知予定。

7. 旅費支援

本研修は、2026 年度筑波大学海外留学支援事業（はばたけ！筑大生）の支援対象である。支援金額は 1 名あたり 15 万円（返済不要）。受給に関する詳細は、本研修参加決定者に別途通知予定。

8. 費用

40 万円程度
※航空券代、海外旅行保険、OSSMA 登録料、各種予防接種・空港までの往復交通費、宿泊費、食費、現地交通費雑費・パスポート、ESTA 各申請料及び申請にかかる手数料
※航空券及び宿泊先については、研修の遂行にかかる安全管理の都合上、TTPP 事務局にて決定の上、まとめて手配予定（支払いは各自。TTPP 事務局の指示に従い、必ず期日までに支払いをすること）。別途自身で手配することは認めない。可能な限り廉価となるよう配慮するが、物価上昇および円安の影響、並びに安全性等の観点を踏まえ、自己負担額が 40 万円を超える可能性はある。その点を十分に承知の上で応募すること。なお、「はばたけ！筑大生」支援金は研修後に支給されるため、参加前に 40 万円程度の現金を自身で用意する必要があることを理解しておくこと。

9. 予防接種
厚生労働省検疫所 FORTH のホームページ等を参照し、自身の責任により受けること。
※予防接種の種類によっては、数回（2～3 回）接種する必要があるものもあるため、なるべく早く医療機関や検疫所で接種するワクチンの種類や接種日程の相談をすること。

10. 留意事項
1) 過去に TTPP 短期研修または TTPP 協定校への交換留学に参加したことのない学生を優先する。
2) 参加者が 5 名に満たない場合、研修は中止となる。
3) 宿泊先では相部屋となる予定。
4) 連絡は適宜メール及び Teams にて行う。メール、Teams は随時確認し、遅延なく返信すること。選考に通過した後でも、プログラム参加に必須である「定期的な連絡体制を確保」することができていないと判断される学生については、参加を取り消すことがある。
5) 学生本人の都合によるキャンセルで発生した費用は本人負担となる（研修不参加の場合は「はばたけ！筑大生」の支援金についても支給対象外となる）。
6) 本研修は、国際情勢や世界的感染症等を鑑み、中止となる可能性がある。中止の判断はできる限り迅速に行うが、やむを得ず急遽中止となった場合でも、準備にかかった費用については自己負担となる。

11. 全体スケジュール
（2026 年 11 月時点。更新後のスケジュールは随時参加者へ通知予定。）
2026 年 11 月 26 日（木）正午 ：募集締め切り
2026 年 12 月初旬 ：書類選考通過者向け面接審査（オンライン）
2026 年 12 月中旬 ：結果通知、研修詳細・日程決定
2027 年 1 月下旬 ：第 1 回事前研修会
2027 年 2 月中 ：第 2・3 回事前研修会
2027 年 2 月下旬～3 月中旬 ：実地研修期間
2027 年 3 月下旬 ：研修後報告会

[問い合わせ先]
筑波大学筑波トランスパシフィックプログラム事務局
Email: latinamerica-pj@un.tsukuba.ac.jp